



(原ゆうじのプロフィール)
1965年松戸生まれ 上本郷小、六中、立教高校、立教大学理学部化学科卒。長瀬産業(商社)勤務を経て現在、ベーカリー店経営
H22年市議初当選、現在3年目

松戸市議会議員原ゆうじ市政レポート税金の無駄遣いは許さない！ 3年春号

松戸市の市役所移転案に待った！

新拠点ゾーンありきに議会反発！修正案可決に

波乱の3月議会！議会の反発！ 耐震性に課題があり、早急な建て替えに迫られている市役所庁舎ですが、令和3年度予算から**市役所機能再編整備基本構想策定業務、3000万円を削除した予算案**(総額1667億1千万円、過去最大)が可決となりました。早急な建て替えが必要なのに議会はなぜ？詳しく報告します！！

移転候補場所、新拠点ゾーンありき？の市役所構想案策定予算が削除に！！

移転先は決定？ 市は、市役所庁舎をイトーヨーカ堂裏、新拠点ゾーンと名付けた場所に移転させたい意向を示しているものの、これまでの議会答弁では「**移転先は決定したわけではない**。これからも丁寧に説明、議論してまいりたい」としています。しかし、昨年末の市役所の立地や機能、大きさなどを考える市役所機能再編整備基本構想(案)では市役所機能の立地場所としては、**新拠点ゾーンが最適と明記**されています。

こうした相反する市の態度に議会が反発、構想案策定委託料3000万円を削除する修正案が可決されました。**新拠点ゾーンありきでは！お手盛りの？現地 vs 新拠点ゾーン比較！これでいいのか！**

基本構想案では、市役所を現地と新拠点とで建て替えた場合の比較を、以下のように松戸市は行っています。

①災害拠点としての比較 高台にある新拠点は特に、千年に一度の大規模降雨時の水害想定でも災害対応は可能とする一方、現地は敷地そのものの浸水はないものの周辺道路、交差点(特に市役所前交差点)が浸水し、その際、災害時の緊急輸送道路である国道6号線を通じた受援や応援が困難になる。

→原の見方: 国交省江戸川事務所のHPで確認すると、問題となる市役所前交差点は、四角の一画が最高でわずか4.3cm浸水する想定で、**交差点すべてが浸水するわけではなく**、工夫次第(例えば、パレットを引きその上を通行)では車両の通行は可能と思われます。又、救援物資の配送はそもそも運動公園中心の想定です。

②事業費の比較 事業費はほぼ同等なもの、(表参照)新拠点整備では、現庁舎跡地の民間開発等の波及効果で約5.5億円の税収増(30年間で)が見込まれる。

→原の見方: 市の示す新拠点への移転建て替え *表1 現地建て替え VS 移転建て替え、(市提示)

案の事業費見込みは多くの疑問があります。例えば、右表では駐車場整備130台分26億円ですが**現在の駐車場は280台**ですので130台では足りるわけがありません。

仮に280台整備なら56億円となるはずですが、

又、新拠点へのアクセス整備費の計上もありません。市は国道六号線上り車線に新たな右折信号の設置や、現状、一方通行となっている道路

	現地建て替え	新拠点へ移転建替
土地取得	なし	27億円(8799㎡)
建設整備費3万㎡	129億円	129億円
地下駐車場整備	なし	26億円(130台)
解体費&仮設庁舎経費	20億円	なし
庁舎跡地売却収入	なし	-35億円
事業費合計	149億円	147億円

路(急坂道)を双方向化するとしていますが、今回の比較にはそうした費用はなぜか計上がありません。

原の考え 市は災害拠点&事業費の面でも新拠点が優位と主張していますが、そうは思えません。市役所の建て替えは多額な費用が掛かる大事業です。しっかりと正確な比較を今こそすべきです！

こうした新拠点ありきのお手盛り比較では到底、納得いきませんし、すべきでもないと思っています。

松戸市、増える借金！減る収入！

まずは知ろう！松戸市の財政事情！増える借金、なんと！6年間で200億円越えの増加！

表2,一般会計債務(借金)残高推移単位:億円 市単独の借金である一般会計の債務残高はこの5年で200億円増えており、病院事業などの借金を加えた市すべての借金は26年度1798億円からR元年度2158億円とこちらは360億円も増えています。増える借金、一方で収入はどうか？

年度	H26	H28	H30	R元
債務残高	1004	1141	1204	1217

市税収入は約705億円！近隣市比較で最下位！しかもコロナの影響で大幅減収見込み！

松戸市の1人当たり市税収入を近隣市と比較すれば、残念ながらその額も、直近10年間での増加額もダントツの最下位。人口規模が約50万人とほぼ同じの市川市と比べると1人約32000円違いなので、市としては年約160億円も違うことになります。しかも、令和3年度はコロナの影響で3.9%、約27億円減の見込みとなっています。

(表3, 市民1人当たり市税収入、近隣市との比較)

年度	松戸市	柏市	市川市
令和元年	141,276円	161,032円	173,175円
平成23年	140,513円	156,982円	168,617円
10年増加額	763円	4050円	4558円

大型3事業はすべて出来るのか？

現在、松戸市では、本郷谷市長主導で以下の大型3事業を推進しようとしています。

- ①新拠点ゾーン開発：松戸駅イトーヨーカ堂裏側、聖徳大学の前、中央公園を中心に、国有地を購入し、区画整理を行い、そのうえで市役所ビルと市民会館、図書館、美術ギャラリーなどの複合ビルを建てる構想
概算事業費は、区画整理+市役所移転+駐車場整備で約300億円、図書館建設費等その他整備費は未定
 - ②新ごみ焼却炉建設：和名ヶ谷&高柳クリーンセンターを一つにして建て替える構想
概算事業費、市はいまだに示さず。焼却能力400トン/日の焼却炉建設なら推定約400億円必要か？
 - ③新松戸東口開発(区画整理事業)：未開発の新松戸駅東側を区画整理により駅前広場等を整備する計画
- これら3大事業実施には多額の費用がかかり、そのためにはあらたに借金をしなければなりません！では、**厳しい財政状況の中、はたして市は借金をどのくらいまでできるのでしょうか？**

「市借金限界値の目安は1,436億円！」(一般会計)

と市は答えています。さて、この目安内なら、あといくらまで松戸市は借金ができるのでしょうか？

1436億円(借金の限界値)-1217億円(現在の借金残高)=**219億円！！**

しかし、はっきり申し上げて**あと借金219億円内、大型3事業はすべての実現は不可能！**と思います。

原ゆうじの考え！市役所建て替え&ごみ焼却炉建設を最優先に！

3事業に優先順位を！ただでさえ、他市に比べ低い市税収入、しかもコロナの影響で減収見込みの中、事業の良し悪しはともかく大型3事業すべてすぐに行うのは無理と考えます。なので、事業に優先順位をつけるべきです。

具体的には、建物の耐震性に課題がある**市役所の建て替え**。又、ごみが燃やされず、多額の費用をかけた他市に焼却を依頼している状況下、その解決のための**ごみ焼却炉建設**は最優先で早急に行わなければなりません。

市の姿勢に喝！しかし、ごみ焼却炉建設は最長5年の延期。市役所建て替えは、新たな土地の購入や道路整備など時間も費用もかかりそうな新拠点ゾーンへの移転ありき。こうした市方針を看過することは私にはできません！

ごみ焼却炉建設は多額の費用が見込まれますが、まずは計画を立て費用見込みを早急に出すこと。そして市役所建て替えは現地建て替えとの**フェアな比較**をすること。市は正々堂々とした情報を明らかにしてから進めるべきと思います。市の未来を左右する大型事業の実施。**原ゆうじは今後も市に対案をもって強く訴えてまいります！**